2020年9月9日

各位

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社

大和ハウスグループグリーンボンド（無担保社債）の引受けについて

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社（取締役社長 荒木 三郎、以下、当社）は、このたび、大和ハウス工業株式会社（社長 芳井 敬一）が発行するグリーンボンド⁽¹⁾「大和ハウスグループグリーンボンド（無担保社債）」（5年債200億円）の引受けにおいて共同主幹事を務め、本日、同グリーンボンドの条件が決定されましたことをお知らせします。

大和ハウスグループは長期環境ビジョン「Challenge ZERO 2055」に基づき、創業100周年となる2055年までに、グループ、グローバル、サプライチェーンを通じて「環境負荷ゼロ」の実現を目指しています。その中で、「環境負荷ゼロ」および「環境と企業収益の両立」を実現するために、「大和ハウスグループグリーンボンド」を発行することとしました。調達した資金は、研修施設「(仮称)大和ハウスグループ新研修センター」や、再生可能エネルギー100%のまちづくり「船橋グランオアシス」、環境配慮型物流施設などの開発・建設費用として充当する予定です。なお、再生可能エネルギーを全面的に取り入れた複合型まちづくりを対象とするグリーンボンドの発行は日本初となります。

本グリーンボンドは、適格性と透明性の確保および投資家への訴求力向上のため、グリーンボンド原則2018（ICMA）および環境省グリーンボンドガイドライン2020年版に則したフレームワークを策定し、株式会社格付投資情報センター（以下、R&I）よりセカンドオピニオンおよびグリーンボンドアセスメントとして最上位である「GA1」の評価を取得しています。また、環境省の2020年度グリーンボンド発行促進体制整備支援事業の補助金交付対象となっております。

当社は、金融機関として果たすべき社会的使命を自覚し、持続可能な社会の実現に貢献するための取組みを積極的に推進しており、環境分野においてもグリーンボンドの引受けをはじめ、社内の省エネ・省資源施策等を実施しています。

2006年に国連責任投資原則（PRI: Principles for Responsible Investment）が制定されて以来、世界のESG投資が拡大していることを受けて、資金使途を環境対策事業とするグリーンボンドや社会貢献事業とするソーシャルボンド、両方の特性を有するサステナビリティボンド等の発行は増加傾向にあります。引き続き、当社は、企業・経済の成長と社会・環境と

の両立の観点から、ESG をテーマとした債券の引受けを一層推進するとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

(大和ハウスグループグリーンボンドの概要)

発行会社：大和ハウス工業株式会社
名称：第 22 回無担保社債(特定社債間限定同順位特約付)
取得格付：AA- (R&I)、AA (JCR)
年限：5 年債 (2025 年 9 月 12 日償還)
発行額：200 億円
利率：0.130%
発行日：2020 年 9 月 15 日
主幹事：野村証券株式会社、大和証券株式会社、SMBC 日興証券株式会社、
三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社、みずほ証券株式会社
資金用途：研修施設「(仮称) 大和ハウスグループ新研修センター」、
再生可能エネルギー100%のまちづくり、環境配慮型物流施設

(1) 環境事業に要する資金を調達するために発行する債券。大和ハウスグループグリーンボンドは、国際資本市場協会 (International Capital Market Association : ICMA) が定義する「グリーンボンド」の特性に従った債券である旨、第三者評価機関による評価を取得している